

本音の コラム



米国はいうまでもなく、世界最強の軍事大国である。その世界一強い軍隊と一緒に戦争をするのが、いま安倍晋三首相がやりたがっている「集団的自衛権」行使である。

鎌田 慧

自分の国に関係のない戦争にでも、約束に応じて、出かけていくことになりかねないのだから、「集団的攻撃義務」というほうがより正確だ。けんかに強い男の尻馬に乗って相手を攻撃するなど、わたしのもっともしたくないことである。「助っ人」するなら弱い者にすべきで、強い者に加勢するのは卑怯な迎合である。「集団的いじめ」そのものだ。「集団的自衛権」は、

最初の戦死者は誰か

日本側が考えたことではなく、米国側の要請である。先方は十分ひとりでも戦えるのだが、経費削減と孤立化を防ぐため、「同盟国」に下請けさせるという屈辱である。

日本は憲法で「武力行使はしない」と誓っている国である。「自衛」は認める、と解釈されたにしても、武力行使までのハードルは非常に高い。まして外国に出かけて戦争など、最悪の選択だ。

オバマ大統領との二月の面会で、戦争への加担を約束してきつな、右派純粹培養の首相に不安感がいっぱいだ。首相も麻生太郎副総理もひとの痛みを知らない、無邪気なエリートで、心もとな

い。米国の戦争に参加して、最初に死ぬのはだれか。最初に殺すのはだれか。(ルポライター)